

愛Pが行く!!!

知立市の魅力発見旅 No.10

今回は、知立市図書館取材してきました。館内では、本を読んだり、気になる本を探したりと読書の秋を楽しんでいる姿が多く見られました。また、学習室では学生が勉強に励んでおり、幅広い年代の皆さんに親しまれている空間になっていました。館内の設備やあまり知られていない知立市図書館の魅力をお伝えしていきます。



担当の方に聞きました 担当者：知立市図書館 佐々木さん

知立市図書館について

知立市図書館では、開架で約10万冊、閉架で約12万冊と多くの本を取り扱っています。そのため、図書館を利用する人が見つけやすいように、月に1回、大規模なものは年に1回、蔵書の整理を行っています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、設置されているイスの数を制限し、マスクの着用や感染症対策のアナウンスを1日に数回行っています。返却された本は1冊1冊丁寧に拭くなどの工夫をしています。さらに、以前開催されていた読み聞かせコーナーのスペースでは、季節に合わせた展示を設置するなど、コロナ禍でも図書館を楽しんで利用してもらえるように工夫しています。



～質問コーナー～

○知立市図書館の良いところは？

市民の皆さんと親密な形で運営していて、親しみやすい図書館なところです。

○1階のカウンターで受けられるレファレンスサービスとはどのようなものですか？

本を探しているとき、調べたいことがあるときにお手伝いします。気軽に何でも聞いてみてください。

○知立市図書館ではどのようなサービスが受けられますか？

本やCD、DVDを借りることが出来ます。また、図書館を利用する人は本の購入リクエストができ、図書館側から購入が認められると図書館でも借りられます。購入が認められなくても、県内の公立図書館の相互貸借の仕組みを利用して借りることが可能です。

○長い間借りられていない閉架にある本はどうしていますか？

リサイクルコーナーを設置し、無料で差し上げています。今年は11月27日(土)から始まり、本が無くなるまで設置しています。

編集後記

図書館の利用状況について、学生の学習室の利用が多いという点に関心を持ちました。私自身、中学・高校生時代は休日に地元の図書館を訪れ、学習スペースを利用し、休憩中や集中力が続かないときは気分転換に本を探しながら図書館内を歩き回っていました。近くに本がある環境なので、気になることがあればすぐに調べられるのも図書館で勉強する利点だと思います。勉強する目的で図書館を利用する人は、本のあるスペースを素通りしてしまうかもしれませんが、過去問を解いているときに出てきた文学作品や人物について書かれている本を探してみるのも面白いと思います。



愛Pとは？

愛知大学の学生サークルです。主な活動として、オープンキャンパスで愛知大学生の生活を紹介する独自の運営や来てくださった人にご案内を行っています。活動を通じて、愛知大学の魅力を学生目線で発信している広報サークルです。このコーナーでは、学生らしい視点でイベントや地域の人たち取材し、知立市の魅力を新発見、再発見したものを伝えていただきます。

